

阿佐東地域公共交通懇話会

平成20年3月24日設置
平成21年3月19日連携計画策定



概要

徳島県南部から高知県東部にわたる阿佐東地域は、過疎化や少子高齢化による鉄道・路線バスの利用者が減少し続け、維持・存続が危ぶまれている。しかし、自らの移動手段を持たない学生や高齢者にとっては、欠かすことのできない交通手段であり、今後においても存続させる必要があると考えている。そのためにも、鉄道や路線バスを「マイレール、マイバス」として、地域住民自ら「考え、支え、そして育てる地域公共交通の構築」を進めるとともに、四国遍路や恵まれた地域資源を活かした観光誘客により交流人口の拡大を図るなど、地域住民の参加のもと、関係機関が連携して今後の公共交通機関のあり方を総合的に検討し、阿佐東地域における地域振興に取り組んでいく。

○JR相互乗り入れ

阿佐海岸鉄道とJR四国とで、相互乗り入れ(相互直通運転)を行う。乗り換えを不要とし、利用客の利便性の向上を図る。1日2往復。

○LED電飾列車

トンネルの多い阿佐東線の特長を活かし、徳島の特産品であるLEDでカラフルなイルミネーションを演出。夏、冬とそれぞれ運行。

○なごみ(ゆっくりとろとろ)列車

無料でコーヒーやお茶等を提供し、低速、ときには停車し、沿線の景色や鉄道施設を見ていただく。臨時便として日祝日8日程度運行。



○公共交通フォーラムを開催

地域住民自らが、地域の公共交通について考えてもらうため、専門家を招くなどしてフォーラムを開催し、利用促進の気運を高める。

○鉄道の日記念事業

鉄道に日にあわせ、沿線の保育・幼稚園児を対象に乗車・1日車掌体験などを行い、鉄道に関心を持ってもらう。

○風鈴列車

風鈴やあさがお、すだれで清涼感を味わってもらうとともに、募集した俳句も掲示。飾り付けは、地元俳句会と一緒にやる。

JRとの相互乗り入れ



公共交通フォーラムの開催



LED電飾列車



鉄道の日記念事業



ゆっくりとろとろ列車



風鈴列車

